

総合計画は まちづくりの

羅 針 盤

第9回

テーマは

安全と潤いの 生活基盤

わたしたちが居心地よく生活するためには、道路や公園などの都市基盤を整備することはもちろん、安全で快適な街をつくることや安全な水の安定供給、下水道の整備、超高速インターネット通信環境の整備などの生活環境の向上が必要です。

今回は、身近な住環境の充実が目標のまちづくりの基本指針5「安全と潤いのある機能的なまちづくり」を紹介します。

生活基盤

◆戦略目標

安全で便利な暮らしができます

◆取り組むこと

- ・安全で安心な水の供給に努めます
- ・下水道を整備し、水環境を守ります
- ・安定的な水資源の確保に努めます
- ・国土保全に努め、河川や海岸の災害を防止します
- ・既存住宅の有効活用と安全な住環境を創ります
- ・便利な超高速インターネット通信環境を創ります

<本市を取り巻く状況と課題>

- ・老朽化した水道管の更新
- ・排水施設とトイレの水洗化の推進
- ・安定した水資源の確保
- ・大雨時などの河川、海岸の災害への対応
- ・公営住宅の適切な維持管理
- ・市内の情報化基盤環境の格差への是正

<取り組む目標値：上水道の普及率>

- ・平成19年度策定時 79.7%
- ・平成24年度目標値 84.8%



都市基盤

◆戦略目標

機能的で快適な暮らしができます

◆取り組むこと

- ・調和のとれた計画的な都市空間を創ります
- ・安全で人にやさしい道づくりを推進します

<本市を取り巻く状況と課題>

- ・市街地を中心とする幹線道路の朝夕の混雑及び狭あい箇所の解消
- ・耐震基準改訂による橋梁の耐震補強への対応

<取り組む目標値：道路舗装率>

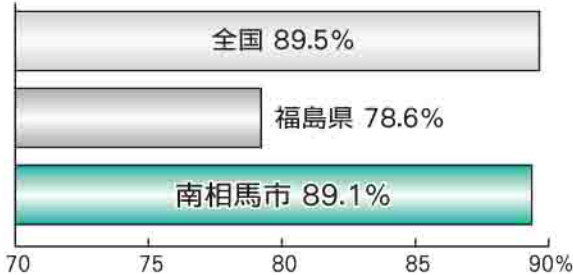
- ・平成19年度策定時 58.2%
- ・平成24年度目標値 59.2%



▲人にやさしい道づくりを！

まちのデータ

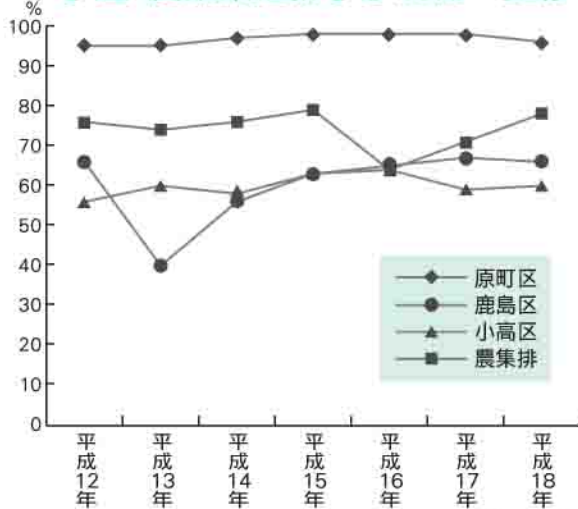
超高速インターネット利用可能世帯率 (平成20年9月末)



出典：情報政策課資料

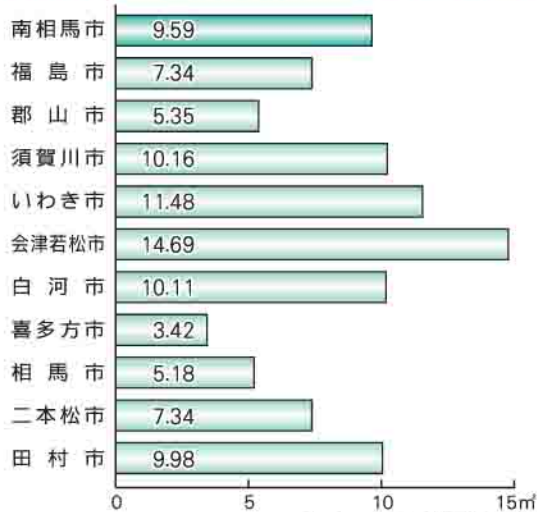
本市では、これまで市民アクセス網の整備拡張などによって、インターネット環境を整備してきました。その結果、福島県全体と比べて、市民の利用できる環境は充実しています。

下水道・農業集落排水水洗化の推移



出典：下水道課資料

人口1人当たりの都市公園面積



出典：都市計画課資料

景観・緑化



◆戦略目標

自然に親しみ憩いを感じることが出来ます

◆取り組むこと

- ・まちの特性を活かし潤いのある景観を創ります

- ・心地よく憩える公園や緑地空間を創ります

<本市を取り巻く状況と課題>

- ・自然景観や歴史的景観の保全、継承
- ・公園や緑地の整備と適正な管理

<取り組む目標値：一人当たりの公園面積 (都市計画公園ほか)>

- ・平成19年度策定時 10.97m²/人
- ・平成24年度目標値 12.34m²/人

この事業も
安全と潤いのある
機能的なまちづくり
の一つです

きょうりょう 橋梁長寿命化計画策定事業

市では、道路橋の構造に関する基準を定めた「道路橋示方書」に基づいて、約600橋を維持管理しています。

現在は、道路橋を一つひとつ点検して橋の高齢化や劣化の状況を把握し、今後の適正な維持管理に向けた計画を策定しています。

この計画に基づいて、危険度の高い橋に優先度を設定し、より効率的な修繕や架け替えを行いながら日常的な維持管理を強化していきます。このことによって橋の寿命を延ばすとともに、維持管理費の削減を図り、安全で安心な交通環境を確保します。



▲国道6号に架かる小高川橋の耐震工事(国土交通省)